

全教科の学力の前提は「読解力」

—「読解力」は、「読書・新聞・辞書活用の習慣」で身に着けよう！—

開倫塾

塾長 林明夫

Q 1：新しい学年が始まりました。「学校成績を大幅に向上」させ、「トップ校や難関校を含む第一志望校合格」を確実にするためにはどうしたらよいですか。

A：(1)新学年にふさわしい素晴らしい質問ですね。自分の夢や希望を実現させるために、小学校や中学校、高校での「学校成績を大幅に向上」させ、「トップ校・難関校を含む第一志望校合格」を確実にするにはどうしたらよいか、「効果の上がる学び方」「効果の上がる学習方法」を考えることは、素晴らしいことです。

(2)なぜなら、「多様な選択肢のある人生を歩む(自分のやりたいことをどんどん伸ばし、得意分野・専門分野にする)」、そして、「正常に機能する社会の形成に貢献(社会のお役に立つ)する」ことは、素晴らしいことだからです。尊敬に値します。

(3)①「学校成績を大幅に向上させる」「トップ校・難関校を含む第一志望校合格を確実にする」には、各教科の勉強をしっかりと行い、定期試験や模擬試験、入学試験でよい点数(定期試験なら 100 点満点、入学試験なら合格点)を取らなければなりません。

②そのための前提は、「読解力」です。

③「読解力」が不足していたのでは、「定期試験」はもちろん「入学試験」でよい点数を取ることができないからです。

○「読解力」とは何か。「文字や文章」はもちろん、「情報(数字、記号、図表、様々なデータなど)」を、正確に、論理的に、分析的に「読み解く力」を「読解力」といいます。

○「教科書」や「教材」はもちろん、「テスト問題」「地図帳」「年表」「辞書」「道路標識」「映像」「図表」「新聞」「本」などを、正確に、論理的に、分析的に「読み解く力」が「読解力」です。

Q 2：「読解力」が不足していると、なぜ「定期試験」や「入学試験」でよい点数が取れないのですか。

A：(1)①今年、2024 年の 1 月 13 日・14 日に行われた、大学共通テストのすべての教科の問題は、以前にも増して PISA 型に衣替え、問題本文・設問・選択肢の「分量」、つまり、「読み解く文章や数字、資料」の「分量」が多かったようです。

②英語を含め、「読解力」、正確に、論理的に、分析的に「読み解く力」が不足していると、試験時間内に問題文を読み終えることができない。

- ③試験時間内に、問題文を正確に読み込み、論理的・分析的に考え、正解を導くことができない。
 - ④そのために、合格点を取ることができないからです。
- (2)①公立・私立高校入試や私立中学入試、公立中高一貫校入試も、問題文(文章や資料)が増え、全教科まったく同様、PISA 型にどんどん移行しています。
- ②「読解力」が不足していると、試験時間内に問題文を読み込み、正解を導くことができないからです。
- (3)①小学 6 年生・中学 3 年生対象の文部科学省の「全国学力テスト」や、小学校・中学校・高校での「定期試験」も、問題文(文章や資料)が増え、PISA 型にどんどん移行しています。
- ②「読解力」が不足していると、問題が解けない、時間内に試験が終わらないことになるからです。

Q 3 : 「読解力」が不足すると困ることはほかにもありますか。

- A : (1)①「読解力」が不足して困るのは、「入学試験」や「定期試験」のときだけではありません。
- ②学校の教科書を「予習」したり、「復習」をしたりするときにも、教科書に書いてあることがよくわからない、先生の授業がわからない、黒板の板書がわからない。「理解」できずに困ります。
 - ③部活動でスポーツをするときに、練習の仕方や試合の仕方、ルールを学ぶときにも困ります。楽譜を正確に読み解けなければ、楽器を演奏できません。
- (2)①案内や道路標識、地図などを見て、その意味がわからない、読み解けなければ、目的地にたどり着かず、事故にあうことすらあります。
- ②電化製品やパソコン、スマホの使い方を示す「マニュアル」を読んでわからなければ、うまく利用することができません。
 - ③好きな作家の本があっても、「読む力」がなければ、最後まで読み終えることができません。
- (3)①このように、「読解力」は、入学試験や定期試験だけでなく、学校での授業や、運動部・文化部の部活動でも必要です。
- ②社会での生活にも欠かせません。
 - ③読書にも必要です。

Q 4 : それではお聞きします。「読解力」を身に着けるにはどうしたらよいのですか。

- A : (1) <学校の教科書で読解力を>
- ①新学年で学ぶすべての教科の「教科書」を、1 ページ、1 ページ、しっかり、1 語 1 語、どのような意味かを考えながらよく読むこと。
 - ②そして、各教科の先生方の授業をしっかりと聴きして、「ああこれはこういうことか」と、十分に「理解」することが一番大切です。

- ③授業後は、しっかり復習。「理解」を深めること。
- ④十分に「理解」できたら、声を出して読む練習(音読練習)。
- ⑤大切な内容は、何も見ないで言えるようにする(暗唱する)。
- ⑥「書き取り練習」をして、正確に書けるまでにする(暗記する)。
- ⑦「定期テスト」「入学試験」の勉強をしっかり行い、「教科書をスミからスミまで、全部覚える。全部理解し、暗唱、暗記すること」

(2)＜国語の教科書で読解力を＞

- ①学校の教科書、特に、「国語の教科書」で紹介されている「作品」でお気に入りの「作品」があったら、1冊最後まで読んでみる。できれば、同じ作品を2～3回読むことをおすすめします。
- ②お気に入りの「作家」が出てきたら、「代表作」だけでも、2～3回最後まで読む。図書館に行き、その作家の「全集」を何年かかけて読む。
- ③中学校・高校の「国語教科書」は、「一生の宝物」と考え、巻末の「年表」に出ている作家の代表作品だけでも、「一生かけて挑戦」を。

(3)＜新聞で読解力を＞

- ①家庭や学校図書館、公共図書館の新聞を、毎日30分以上、1面から舐(な)めるように読むと「読解力」が身に着きます。
- ②読売新聞の英語版「THE JAPAN NEWS」を、読売新聞を読んでから、内容がよくわかっている記事を中心に、毎日1時間読むと、「英語の読解力」が身に着きます。
- ③「教科書」「教材」「テスト問題、その解答解説」「読書」「新聞」に挑戦する間に、意味のよくわからない言葉があったら、辞書を用いて、その意味を調べ、ノートに書き写し、1日に1回、音読練習、書き取り練習を繰り返し、全部身に着ける。「言葉は力、語彙力は力」です。

Q 5 : 最後に一言どうぞ。

A : (1)常に、「読書」「新聞」「辞書」「図書館」に「慣れ親しむ」。そして、一生かけて、「学習習慣」とすることが、「読解力」を身に着けるのに最も「効果の上がる学習方法」と考えます。是非ご挑戦ください。

(2)「人生は青天井、一生青天井」です。自分の人生を青天井(無限大)にするには、そして、一生にわたって青天井(無限大)にするには、一つだけ条件があります。

(3)それは、「一生勉強、一生青春」、つまり、「学び続ける」ことです。「読書」「新聞」「辞書」「図書館」に慣れ親しみ「学習習慣」「生活習慣」とすることです。